

ガス事業者とガス機器メーカー連携しての機器安全対策の実施について

本年7月のパロマ事故の公表以来、ガス事業者（都市ガス事業者・LPガス事業者・簡易ガス事業者）は、ガス機器メーカーのみの問題ではなく、ガス産業全体の問題という認識の下、諸施策に取り組んでまいりました。今般、11月20日から経済産業省の主催で第1回製品安全総点検週間の行事が開催されますが、日本ガス体エネルギー普及促進協議会（以下「コラボ」）と(社)日本ガス石油機器工業会は共同で、本行事に積極的に協力していくとともに、これを契機として、お客さまの安全の確保のため、以下のような事項について、新規に取り組む、あるいは既存の取り組みを加速してまいります。

1. コラボ各ガス事業者、ガス機器メーカーが共同歩調の下、ガス産業を挙げて、今まで行ってきた安全装置がついていない古いガス給湯器・風呂釜^(*1)の買い換えをさらに強化・推進する施策を実施してまいります。施策の内容はガス事業者、ガス機器メーカーによって異なりますが、それぞれ独自に下取りなどの施策を設けて、そうした内容を対象のお客さまへ積極的に周知するなど、お客さまが買い替えやすいような環境の整備に連携をとりながらつとめてまいります。

(*1) 不完全燃焼防止装置のない、半密閉式給湯器・風呂釜、小型湯沸器

2. コラボ各ガス事業者、ガス機器メーカーが一体となり、安全周知チラシやパンフレット等^(*2)をお客さまに配布し、ガス機器・ガス設備についての安全意識の喚起につとめてまいります。

(*2) 添付チラシ参照

3. 現在ガスコンロの安全化に取り組んでいる「あんしん高度化ガスコンロ普及開発研究会」を発展させて「あんしん高度化ガス機器開発研究会^(*3)」（仮称）を発足させます。研究会には、ガス事業者、ガス機器メーカーの他、消費者代表の方にも入っていただき、当面は喫緊の課題である給湯器・風呂釜の法規制への対応等の安全高度化に取り組んでまいります。

(*3) 別紙参照

あわせて、コラボと(社)日本ガス石油機器工業会は、第1回製品安全総点検週間の初日（11月20日）に開催されるセミナーでのガス用品あるいはガス設備についてのお客さまの点検方法の説明や会場での周知関係展示等を行います。

(ご参考)

名称	日本ガス体エネルギー普及促進協議会 (コラボ)	(社)日本ガス石油機器工業会
所在地	東京都港区虎ノ門1-15-12	東京都千代田区神田多町2-11
創立	平成17年	昭和36年
会長	草野成郎 東京ガス(株)代表取締役副社長	会長代行 竹下克彦 (株)ノーリツ代表取締役会長
所属団体・ 所属会社	(社)日本ガス協会 日本LPガス団体協議会 (社)日本簡易ガス協会	ガス・石油機器及び関連部品の製 造及び販売会社、並びに賛助会員 計143社

【担当】

(社) 日本ガス協会広報部 高井・大沢 TEL: 03-3502-0112
(社) 日本エルピーガス連合会 内倉 TEL: 03-3593-3500
(社) 日本ガス石油機器工業会 尾身 TEL: 03-3252-6101

「あんしん高度化ガス機器開発研究会」の検討体制イメージ

